

【調査結果のまとめ】

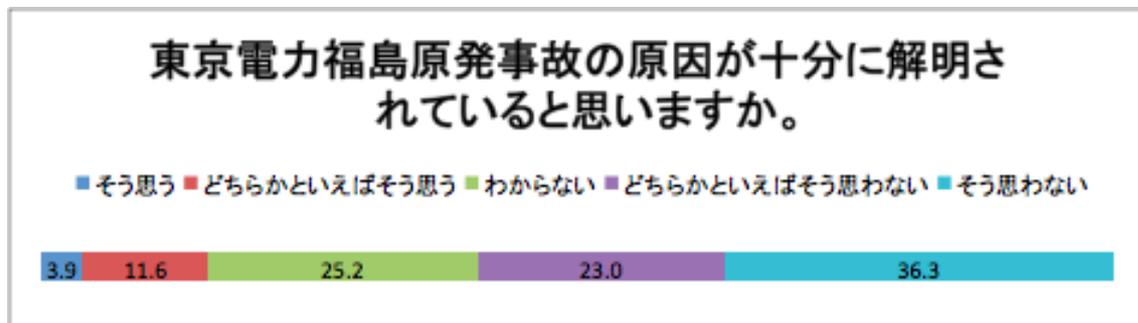
新潟県柏崎刈羽原発 30 キロ圏 1000 人意識調査

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンは、東京電力柏崎刈羽原発（新潟県）について、同原発 30 キロ圏内の 1000 人に意識調査を行いました（注 1）。調査では、原子力発電に関して、東電福島原発事故の原因解明、年間 1 ミリシーベルト規定、避難計画、避難、再稼働事前了解権、新潟県の 3 つの検証委員会、原発事故時の放射能拡散シミュレーション、再稼働について意見を聞きました。

注 1: グリーンピースが楽天インサイト株式会社に委託して実施したオンラインアンケート調査
調査期間 2018 年 12 月 19 日～21 日 - 回答者 1000 人は - 18 歳から 81 歳の男女 合計 1000 人(女 412 人、男性 588 人)、刈羽村、柏崎市、上越市、長岡市、十日町市、燕市、出雲崎町、小千谷市、見附市の住民を対象とした。

1. 東電福島原発事故の原因解明

- 東京電力福島原発事故の原因が十分に解明されていると思うか、との問いには過半数（59.3%）が「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えている。解明されていると思うと答えたのは 4%に満たない（3.9%）。「どちらかといえばそう思う」を含めても 16%に満たない（15.5%）。



2. 年間 1 ミリシーベルト規定

- 一般人に許されている被ばく限度は年間 1 ミリシーベルトと定められているが、ほとんどの住民が、「わからない」(51.2%)もしくは誤った認識(11.9%, 15.7%, 3.7%の合計 31.3%)を持っている。

定められている一般人の年間被ばく限度は どれくらいだと思いますか。

- 1ミリシーベルト未満
- 1～10ミリシーベルト未満
- 10～100ミリシーベルト未満
- 100ミリシーベルト以上
- わからない



3. 避難計画

- 8割に近い住民が、柏崎刈羽原発で事故が起きた際にどこに避難するべきか、自治体から避難計画について情報提供をされているか「わからない」(46.9%)もしくは「されていない」(30.1%)としている。情報提供をされていると認識しているのは23%にすぎない。

柏崎刈羽原発で事故が起きた際にどこに避難するべきか、お住まいの自治体から避難計画について情報提供をされていますか。

- されている
- されていない
- わからない



4. 避難

- 避難計画通りに避難できると思うとしたのは「どちらかと言えばそう思う」を含めても16.8%しかいない。8割以上の住民は、避難計画通りに避難できるかわからない、もしくは避難できると思っていない。また、「わからない、できると思わない」と答えたうちの53.8%過半数が避難計画を知らないから、としている。そのほかの理由としては、41.2%が渋滞を理由とした。

あなたや(家族がいる場合)あなたの家族は、避難計画通りに避難できると思いますか。

- できると思う
- どちらかと言えばできると思う
- わからない
- どちらかと言えばできると思わない
- できると思わない

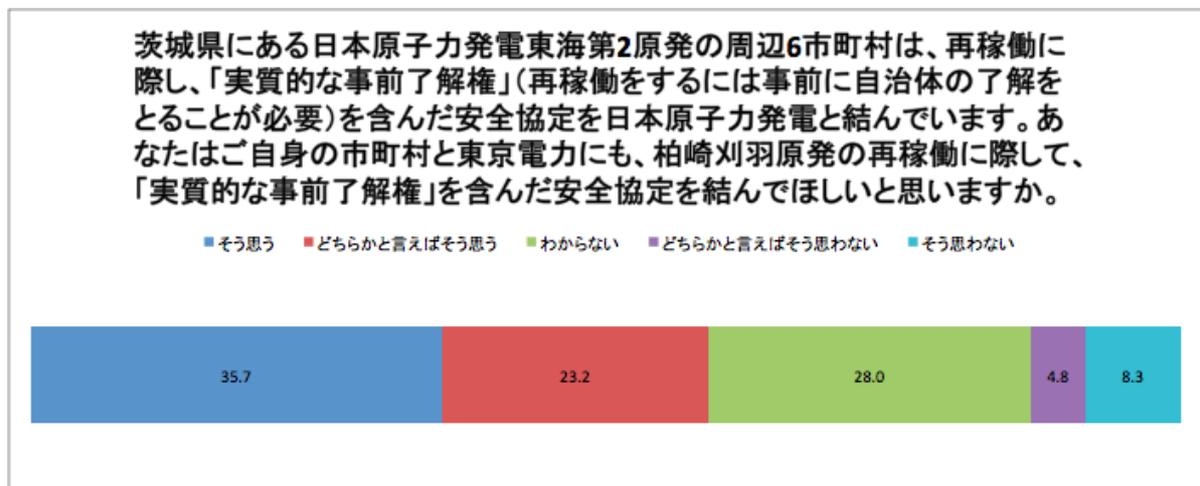


* 「わからない、できると思わない」と答えた方のその理由（複数回答可）

自分や家族に避難が困難と考えられる人(子ども、お年寄り、要介護者など)がいるから	26.8%
ペットや家畜がいるから	13.2%
仕事上避難が困難だから	12.6%
避難計画を知らないから	53.8%
計画通りに避難しようとは思わないから	8.3%
渋滞がおこるだろうから	41.2%
その他:	4.0%

5. 再稼働事前了解権

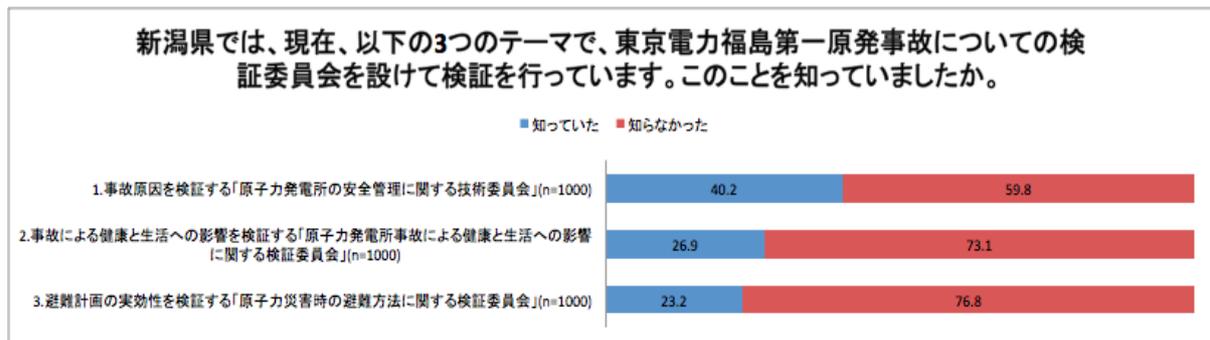
●再稼働をするには事前に自治体の了解を必要とする「再稼働事前了解権」については約6割（58.9%）が柏崎刈羽原発の再稼働に際しても望んだ。



5. 3つの検証委員会

●それぞれの委員会について 59.8%～76.8%知らなかったと答えた。(技術委員会が 59.8%、健康・生活委員会が 73.1%、避難委員会が 76.8%の人が「知らなかった」)

●67.8%が設置について「賛成」「ある程度賛成」とした。



検証委員会を設置したことについてあなたはどのように思いますか。

■ 賛成する ■ ある程度賛成する ■ わからない ■ あまり賛成できない ■ まったく賛成できない



6. 原発事故時の放射能拡散シミュレーション

●8割が原発事故時の放射能拡散シミュレーション結果を知りたい(52.4%)、どちらかと言えば知りたい(28.3%)と答えた。

柏崎刈羽原発の再稼働を判断する前に、大事故が起きたときあなたのお住まいの地域にどんな影響があるか知っておきたいですか。(SPEEDI等の放射能拡散シミュレーションや経済被害予測など)

■ 知りたい ■ どちらかと言えば知りたい ■ わからない ■ どちらかと言えば知らなくてよい ■ 知らなくてよい

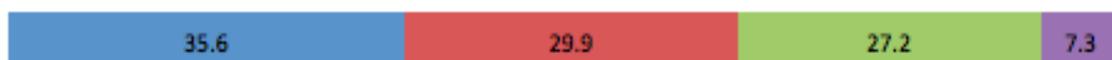


7. 再稼働

- 7割近くが、反対(35.6%)、どちらかと言えば反対(29.9%)と答えた。
- 賛成の理由は、「電気の需要を満たすために必要だと思うから」がもっとも多く39.4%、反対の理由で最も多かったのは「事故のリスクがあるから」だった(55.7%)。

あなたは東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に賛成ですか、反対ですか。

■ 反対 ■ どちらかといえば反対 ■ どちらかといえば賛成 ■ 賛成



お問い合わせ：国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン（鈴木）

GREENPEACE